

決算概要

お問い合わせ先
財政課 ☎ 1163



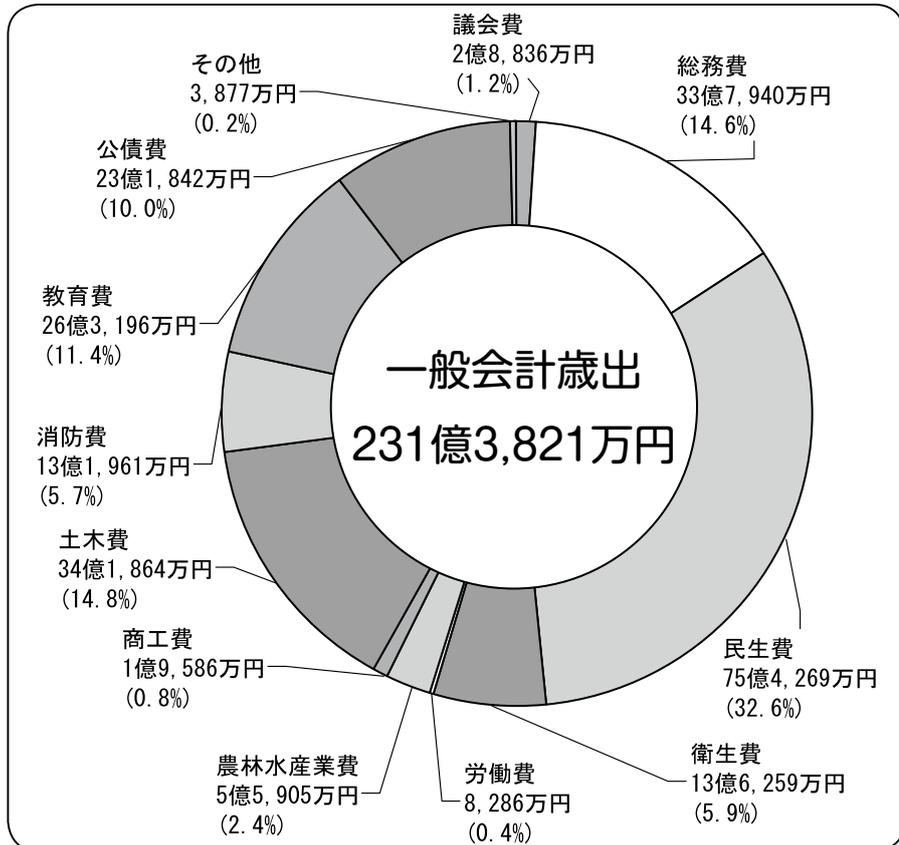
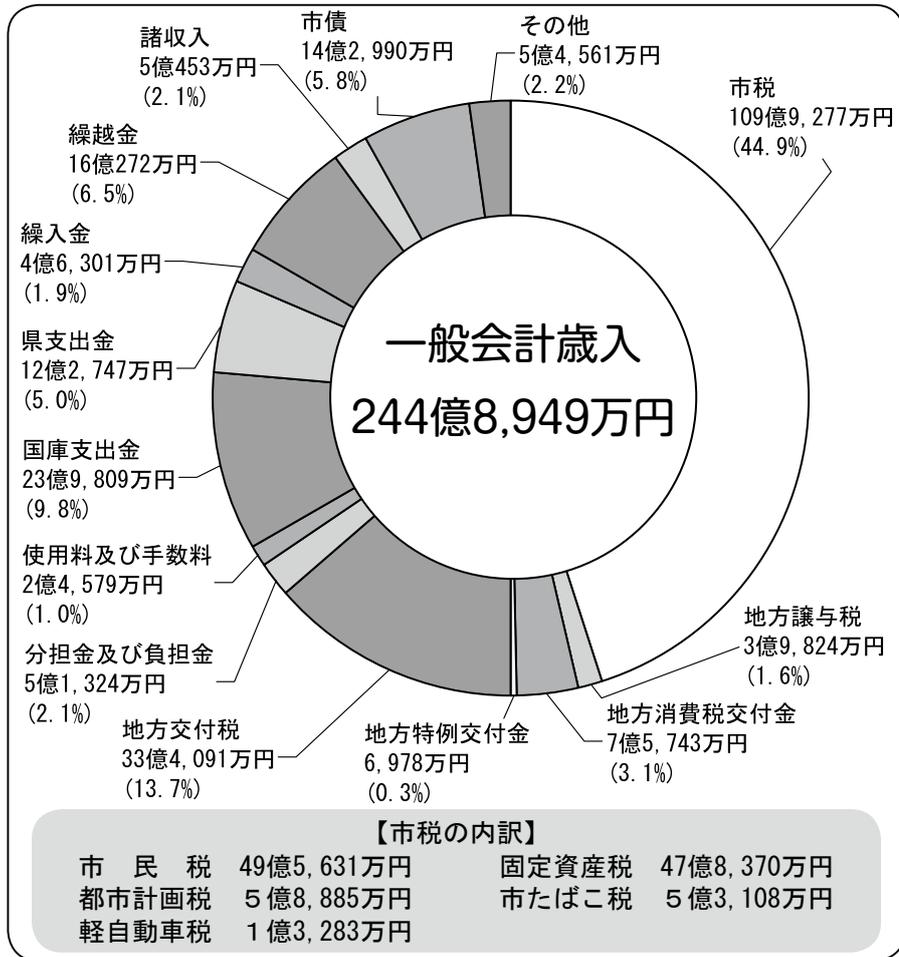
このほど、本庄市の平成19年度決算がまとまりました。みなさんに納めていただいた大切な税金や地方交付税などの収入がどのくらいあり、それらがどのように使われたか、決算の概要をお知らせします。

一般会計決算の概要

平成19年度の一般会計決算額を見てみると、歳入では、このほど、本庄市の平成19年度決算がまとまりました。みなさんに納めていただいた大切な税金や地方交付税などの収入がどのくらいあり、それらがどのように使われたか、決算の概要をお知らせします。

地方交付税や地方譲与税が減少したものの、税源移譲などにより市税が前年度に比べて8・5%増加したことに加え、国・県からの支出金が増加したことにより、歳入の総額は前年度と比較して15億7、530万円（6・9%）増の244億8、949万円となりました。

歳出では、本庄新都心土地区画整理事業負担金、小学校施設整備事業、児玉中学校建設事業、防災行政無線整備事業などに加え、「子どもの心の相談員」の設置、休日急患診療所の開設時間の延長など新たな取り組みを実施し、前年度と比較して18億2、674万円（8・6%）増の231億3、821万円となりました。



平成19年度

特別会計歳入歳出決算額

会計名	歳入決算額	歳出決算額	歳入歳出差引額
国民健康保険	78億3,398万円	78億 748万円	2,650万円
公共下水道事業	42億6,759万円	42億6,220万円	539万円
住宅資金貸付事業	4,253万円	4,248万円	5万円
老人保健	63億 691万円	63億 589万円	102万円
朝日町土地区画整理事業	1億1,549万円	1億1,538万円	11万円
小島西土地区画整理事業	1億5,545万円	1億5,523万円	22万円
児玉南土地区画整理事業	1億7,867万円	1億7,837万円	30万円
農業集落排水事業	3億1,936万円	3億1,901万円	35万円
介護保険	34億7,167万円	34億3,819万円	3,348万円

※特別会計とは、特定の事業を行うために一般会計と区分して経理される会計です。

水道事業会計

区分	収入決算額	支出決算額	収入支出差引額
収益的収支	15億9,022万円	14億2,283万円	1億6,739万円
資本的収支	5億4,451万円	13億6,529万円	△8億2,078万円

※収支決算額および支出決算額には、仮受消費税および仮払消費税を含みます。

※資本的収支の不足額は、内部留保資金で補てんしました。

市有財産の状況（平成19年度末）

公有財産	土地	1,846,354㎡
	建物	229,532㎡
有価証券		1,650万円
出資による権利		12億2,155万円
基金		33億1,338万円
うち財政調整基金		19億9,358万円

市民一人あたりの基金の状況 41,618円

市債残高の状況（平成19年度末）

一般会計	189億3,816万円	
〔内訳〕	土木債 道路や公園の整備など	53億9,886万円
	教育債 小中学校、公民館の建設など	18億3,967万円
	総務債 市庁舎、児玉文化会館の建設など	12億9,825万円
	農林水産業債 農道の整備など	4億3,208万円
	公営住宅債 市営住宅の整備	4億2,972万円
	民生債 保育所の建設など	1億8,396万円
	その他 臨時財政対策債（※）など	93億5,562万円
住宅資金貸付事業特別会計	9,526万円	
朝日町土地区画整理事業特別会計	2億1,164万円	
小島西土地区画整理事業特別会計	7億7,467万円	
児玉南土地区画整理事業特別会計	10億7,289万円	
公共下水道事業特別会計	105億5,112万円	
農業集落排水事業特別会計	5億8,210万円	
合計	322億2,584万円	

※臨時財政対策債とは、地方財源不足を補てんするため特例的に認められた地方債です。

水道事業会計	48億4,698万円
--------	------------

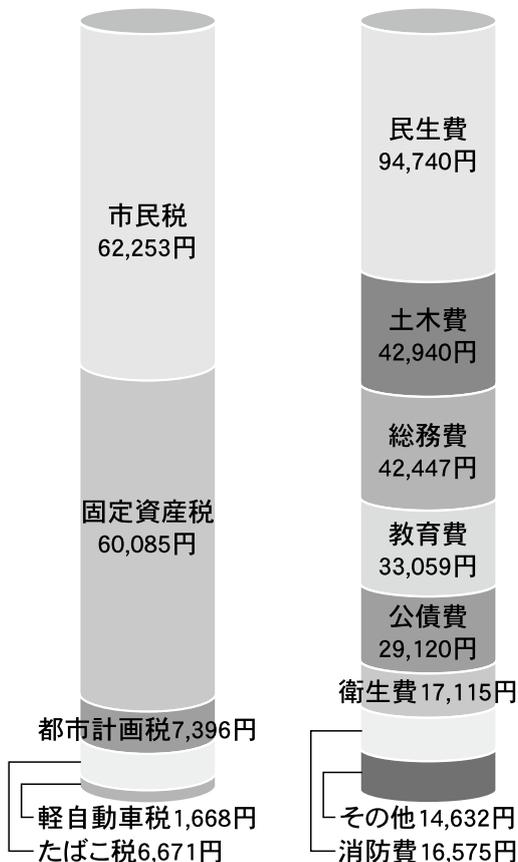
市民一人あたりの市債の状況 465,651円

市民一人あたりが
負担した市税

総額 138,073円

市民一人あたりに
使われたお金

総額 290,628円



※平成20年4月1日現在の住民基本台帳人口
79,615人で計算